



Dai 1 NAIKA News

平成 29 年 3 月 7 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報紙【第 20 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科
〒514-8507 津市江戸橋 2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

ごあいさつ



三重大学医学部附属病院長
伊藤 正明

先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、病診連携などをはじめとしまして、三重大学病院や第一内科の活動に大変ご協力頂き、厚く御礼申し上げます。お蔭さまで、大学病院の新外来棟も開院して 2 年近くとなり、新病棟と共に診療活動も順調です。再開発も予定通りに進み、旧病院の取り壊しが完了して、駐車場、外構整備に入っています。あと 1 年で駐車場、外構整備も完了し、ようやく再開発は終了となります。旧病院がなくなりましたので、23 号線より新しい三重大学病院の姿を見て頂けるようになっていきます。

さて、三重大学病院では、新しくなりました施設、設備をフル活動するため、診療体制などの整備、再調整を進めております。この 4 月より、医学部に新設された形成外科学講座の教授に成島先生（東京大学講師、平成 13 年三重大学卒）が着任され、いよいよ形成外科診療が本格化します。また、リウマチ・膠原病センターの教授（内科系）が公募中で、夏ごろには附属病院でのこの領域の活動も開始される予定です。

三重大学病院は高度急性期、急性期を担う病院として、

今後、診療機能をより鮮明にしていくことが必要と考えております。これには、紹介および逆紹介による患者様の流動性を上げ、より急性期医療に特化していく必要性があります。今後は今まで以上に先生方のご協力を仰ぎながら、先生方の診療活動にもお役に立てるような活動を展開して参りたいと考えています。“地域・診療科連携懇話会”という企画が附属病院で、また“梅檀の会”という病診連携の会を第一内科で開催させて頂いており、これらの活動を含めいろいろな機会を通じまして、先生方とよりスムーズな連携を構築させていただければ幸いです。先生方から頂くご意見の中で多いものに、附属病院へのご紹介を頂く際に時間がかかるというご指摘があります。診療予約を FAX で行っている関係上、このようなことになっておりまして、迷惑をおかけしております。この点につきましては、さらに病院で検討を重ね、先生方にできる限りお手間を取らせない形で対応できる方法を考えて参りたいと思っております。

また、第一内科が担当しています、循環器領域、腎臓領域および総合内科領域、特に入院が必要な患者様のご紹介に関しましては、病棟主任（現在：栗田泰朗助教）直通の携帯電話（連絡番号は裏面をご参照ください）もご利用いただければ幸いです。また、大学病院や第一内科関連のご意見がありましたら、私の方(*)にも是非ご連絡頂ければ幸甚です。

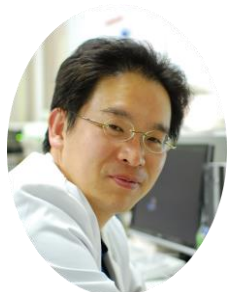
三重大学病院、第一内科は、津市の市民病院として、三重県の県民病院としてお役に立てるようさらに精進を重ねて参りますので、2017 年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(*)携帯：***-***-*** E-mail:*****@*****

腎不全医療のソムリエを目指して

諸先生方におかれましては、平素より腎臓・透析診療にご理解ご協力いただき心より感謝申し上げます。三重大学病院における慢性腎不全の対応についてご紹介させていただきます。

大学病院での透析は腎臓内科がすべての患者さんに対応しています。透析センターでは透析ベッド 8 床と腹膜透析外来 2 室で診療を行っており、約 20 名の腹膜



血液浄化療法部
石川 英二

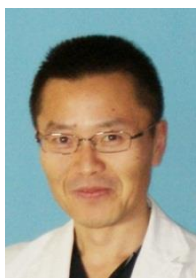
透析患者さんの外来診療および入院患者さんの血液透析を行っています。また、2016 年より在宅血液透析も開始しました。慢性腎不全に対する治療法は血液透析以外にも、腹膜透析、腎移植、在宅血液透析など様々な対応方法があります。それぞれメリットとデメリットがあり、大学病院としてすべての腎代替療法を安全に提供できるよう努めています。

最近の透析導入患者さんの平均年齢は 70 歳であり、透析医療は高齢者医療と言っても過言ではありません。2016 年 12 月末の三重県の透析患者は 4,516 例で、昨年より 29 例増えています。しかし腹膜透析は 74 例と昨年より 27 例減っており、透析患者さん全体の 1.6%でした。腹膜透析割合の全国平均は 2.9%で、三重県では腹膜透析患者が極端に少ない状況です。血液透析のみにこだわらず、在宅で透析できるメリットを生かした腹膜透析を三重県内でもっと普及させる必要があると考えています。また、三重大学病院では 2016 年に 12 件の腎移植が行われており、生体腎移植を中心に毎年確実に腎移植は増えています。

腎不全患者さんの好みや希望、社会背景は多様化しており、それに応じた腎代替療法が提供できる、「腎不全医療のソムリエ」を目指して、若い腎臓内科医の育成にも力を入れていきたいと思っております。慢性腎不全患者さんもおぜひ大学病院にご紹介いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

肝疾患 こんな患者様で紹介ください

日頃より肝障害の患者を診療されるケースは多いと思います。その中で、肝臓専門医から考える“こんな患者様を紹介ください”をテーマにお話させていただきます。



消化器・肝臓内科
山本 憲彦

1. C型慢性肝炎

C型慢性肝炎に対しては、1992年にIFN単独療法が導入されるようになって以降、様々な治療方法が開発され、成果を挙げてきました。しかし、2014年9月よりIFNを含まない飲み薬のみの治療が開発されたことがC型肝炎治療の歴史においてまさにエポックメイキングな出来事であると思われます。現在、C型肝炎は、比較的副作用の少ない飲み薬を12週間服用することで、95%以上の治療率が得られます。現在数種類の薬剤が使用できます。これまでに全国で12万人以上の患者に投与されており、10万人以上の患者がその恩恵を受けております。C型肝炎陽性の患者は、例えばAST/ALTの値が基準値であっても治療適応となる方が多く見えます。AST/ALTが正常だから経過をみるのではなく是非一度治療をお考え頂いてご紹介ください。

2. 脂肪肝

わが国では、実に1000万人もの脂肪肝患者がいると推定されております。皆様も日常普通に遭遇する疾患であると思われます。脂肪肝の中には単純性脂肪肝があれば、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)と言って肝硬変へ進展し、また肝細胞癌を発症する症例も含まれ、その割合は、実に約10~20%といわれております。当院の現状を鑑みても、NASH由来の肝硬変、肝不全、あるいは肝癌が増加している印象です。特に糖尿病合併患者、血液検査でAST/ALT高値例、血小板低値例、腹部エコーで慢性肝障害パターンを認める場合、NASHの可能性あります。その確定診断によりその後の経過観察の方法も変わってくると思われます。そのような患者様が見えましたらぜひ一度ご紹介ください。

もちろん上記以外の場合もお気軽にご紹介ください。お待ちしております。

医師紹介

循環器内科 石山 将希



昨年10月より三重大学病院で大学院生として臨床および研究に携わらせていただいております。三重大学を卒業後、松阪済生会総合病院で初期研修、循環器内科研修、続いて伊勢赤十字病院、尾鷲総合病院で循環器内科として勤務させていただきました。患者様の高齢化が進み、併存疾患を抱える方も

非常に多くなっておられることを痛感しております。循環器疾患だけでなく全身を管理し患者様とそのご家族が望まれる生活が送れるよう、細やかな心配りができる臨床医が目標です。そのためには日常臨床から生まれる問題点を大学で深く勉強していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

市民公開講座「あなたのハートは大丈夫？」

日時：4月8日(土) 13:00~16:00

場所：亀山市文化会館

心臓マッサージ講習会：13:00~講演会：14:00~

※ 詳しくはホームページをご覧ください。

● 第一内科外来担当がリニューアルされました。3月~

		月	火	水	木	金
総合	初診	山田(偶数週) 栗田(奇数週) 山本, 松田(PM)	藤本(直) 村田	岡本 石川	田辺 杉本	土肥
	再診	山田 岡本, 山本	藤本(直) 村田	岡本 石川	田辺 杉本	土肥
循環器	初診	山田 福岡 松田, 中谷	藤井 藤本(直) 佐藤	岡本 杉浦	田辺 藤田 熊谷, 石山	土肥 香川 荻原, 大森
	再診	伊藤, 岡本 藤本(直), 増田, 栗田 デバイス外来香川	土肥 杉浦	岡本 荻原	田辺 藤田 谷村 松田	山田 藤井 熊谷
腎臓	初	伊藤(貴)	村田	石川	藤本(美)	春木
	再	石川	平林	藤本(美)		村田
消化器 肝臓	初	山本			杉本, 小倉	
	再	杉本 山本, 小倉		山本	杉本, 小倉	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火, 木, 金曜日の外来(担当: 藤田, 藤井, 香川)に御紹介をよろしくお願い申し上げます。
デバイス外来(1, 2, 3週のみ)

● 第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/>

三重大学病院循環器内科、腎臓内科
~患者様をご紹介ください~

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要事項を御記入の上、FAX059-231-5541に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2. 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。

病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来：059-231-5146

病棟：059-231-5101

FAX：059-231-5518

研究棟：059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。
本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

